

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日: 2024年12月20日

事業所名: 児童発達支援 こぼんはうすさくら新潟中央教室(児発)

対象人数(保護者)25人 回答者数 25人 回収 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	5	1	よくわからないため、回答が難しい。	活動内容に応じ、戸外で十分身体を動かすスペースの確保や荒天の際は遊具の設定や空間スペースを確保し、お子様の活動に支障の内容を設定します。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	4	1	よくわからないため、回答が難しい。	排泄、食事介助の生活動作など、丁寧に関わる必要のある部分は時間配分を多めに取り、個別に関われる時間と関わりを丁寧に行います。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	5		よくわからないため、回答が難しい。	自由遊びの際は落ち着いて遊べる環境設定、構造化を図ります。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	22	3			
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	4			異年齢での小集団活動ですので、一つの小集団活動でもお子様の特性にあった支援内容を取り入れます。
	⑥	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	2			
	⑦	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	24	1			
	⑧	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	3			
	⑨	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	2			
	⑩	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	2		いつもいろんな活動をしてくれて感謝しかありません。	今後も引き続き、小集団での活動プログラムやおひとりおひとりの課題に合わせた活動も取り入れます。またイベントの企画も季節やお子様の関心が持てる内容を再考し、行います。
	⑪	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	11	8	6	あまり多くはないように感じる。	様々な園との交流機会は持てない状況にありますが、交流センター等を活用し、様々なお子様と関われる機会を作ります。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25				
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	1			
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	2	3		今年度は懇談会等の企画の中で、お子様への関わり方やご家庭でのお困りごと等共有させていただく機会を持つことが出来ました。 今後はニードに合う研修会などの企画を行いません。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	1			
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	5	1	私が面談や様子を見れていないと感じる。	一層、ご家族の方へ見学や面談が出来る機会を作れるよう、ご家庭の状況に応じ丁寧にお声がけます。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1			
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	1	3	保護者同士の交流に参加できず残念に思ってます 我が家は時間的な余裕がないため、あまり参加できていない。	保護者の方のご参加はお仕事やご家庭の状況を考慮し、複数回設定し、交流の幅が広がるよう企画します。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	3			お子様の所属園や相談支援事業所、ご家庭でのお子様の様子が共有できるよう、こぼんの療育見学や園への情報提供など連携します。
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	3			
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24	1			
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	2				
非常時等の対応	㉓ 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	5			契約時の説明不足もございましたので、保護者の方がいつでも閲覧できる相談室に設置したり、壁に掲示、イベントや懇談会時に説明する機会を設けます。
	㉔ 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	21	4			昨年度より、避難訓練、防犯の訓練回数を増やしております。日頃の積み重ねが大切なので、次年度も回数、内容の見直しを行います。
	㉕ 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	1		よくわからない	
	㉖ 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	3		経験が無い為、回答しかねる。	・怪我のないよう、安全対策に努めますが、発生した際は速やかに保護者の方へご連絡をし、お子様の状態、今後の対応を速やかにお伝えします。また、全ご利用者様へ周知すべき内容は速やかにHUGシステムの活動記録でお知らせしたり、感染症発生の際は各ご家庭にお電話し状況、対応をお伝えします。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	23	2			
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	4	1		職員間でプログラムの見直しを常に行いながら、通所が楽しく、お子様のお力が発揮できる支援内容、対応をします。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	24	1		とても満足しています。	引き続き、事業所評価のご家庭のご意見を参考に、お子様の自己肯定感が高まる支援を行います。

公表日 2024年 12月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 新潟中央教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・室内の運動活動は、グループ分けをし、適切な人数で行っている。	・玄関入り口は送迎降車が重なると込み合う為、椅子に座り靴の脱ぎ履きの出来るスペースを再配置する。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・食事、排泄の生活動作で個別支援が必要な場合はゆとりをもった対応が出来る時間設定にしている。	・送迎人員の調整をおこなったり療育活動時間を調整し、こどもの状態に合わせた支援が出来る環境を整える。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・ジョイントマットの配置を行った。	・ジョイントマット・カーベットの洗浄が必要。 ・ジョイントマットは消毒液でふき取りをしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・活動内容やこどもの状態によって、小部屋を利用している。	・こどもの状態に合わせ、小部屋が活用できる設定が必要。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・特に問題なし	・常にゆっくり過ごせる環境を整備する。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・特に問題なし	・ローテーション勤務の為、翌日の活動、目標、振り返り等は日案として毎日記録し、スタッフが翌日の療育配慮を落とさない様今後も工夫する。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・特に問題なし ・保護者向け評価表を基に、イベントを増やす等、保護者同士の交流が持つ機会を設けた。	・保護者の方への相談、見学が増えるよう、年間スケジュールの中に懇談会を入れられたり、随時見学相談は可能だということを知する。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・特に問題なし	・意見をもとに改善しているが、改善後の見直し機会を作る。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・新潟県福祉サービス適正化委員の方が来所	・第三者委員会の構成メンバーは本社と本部に確認を取り設置を含め検討する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・年度末に研修内容のアンケートを取り、アンケートに基づき研修内容と開催時期を調整した。	・外部研修で講師を呼ぶ、外部会場での研修は未実施の為、次年度計画に取り入れる。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・特に問題なし	・活動・支援プログラムの公表は行っているが、公表内容に間違いを作成、公表を適宜行う。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・特に問題なし	・5領域を踏まえた支援とこども、保護者の要望(～になってほしい・なりたいたい)という思いに沿いながら小さな積み重ねの成長段階が分かる様支援計画を作成する。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・特に問題なし	・共通理解職員間で行われているが、アセスメントやモニタリング(中間評価)を話し合う時間が少ない為、日々療育の振り返りの中で児発管が聞き取るようにする。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・特に問題なし	・計画案書式の見直し。修正をおこなう。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・特に問題なし	・体験時のようすも記録に残し、個別支援計画作成に生かす。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・特に問題なし	・地域連携の部分は具体的に個別支援計画に反映できる内容を作成する。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・予約の1か月前に話し合い、余裕を持ってプログラムを計画している。	・今後は1年、半年間の活動プログラムをチームで話し合い、明文化できるようにする。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・製作、運動、戸外等のバリエーションを考えて活動をしている。	・新しい活動を取り入れることを事前に決め、柔軟に新しいプログラムを取り入れる。

関係機関や保護者との連携	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		・5領域項目に分け、集団活動や個別活動のバランスを取り、計画作成している。	・引き続き小集団と個別の活動を子どもの状況に応じ適宜組み合わせ支援する。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・週案、日案を作り、支援前に打ち合わせをしている。	・名前や活動のマグネットを活用し、誰が何を担当するのかわかりやすく、提示し、子どもの支援がしやすい工夫する。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・振り返りの進行や記録をつけ、次回どのように生かし、対応するか考え振り返っている。	・勤務時間内に効率よく振り返りが行えるように生かし、対応するか考え振り返っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・設定しやすい配置図やこどもの着席位置等も示している。	・翌日、支援に入る職員がわかりやすいような記録票を作成し、随時見直しをする。	
	23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・特に問題なし	・日頃の振り返りの中で評価、支援内容を照らし合わせていく。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		・特に問題なし	・身体的機能の部分で共有する部分があれば、機能訓練士等会議に参加し、支援の共有を図る。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	・協力医療機関だけでなく、近隣の皮膚科、眼科の通院を通し、事業所の存在を理解して頂いた。	・事業所を知っていただく為、定期的に連絡を入れたり、挨拶に赴くようにする。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・特に問題なし	・サービス担当者会議への積極的な参加を引き続き続ける。また、園でのこどもの様子を見学させていただく機会を計画的に設け、支援の共有を図る。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・必要に応じ、入学支援ファイルの支援情報提供書を作成している。また必要に応じ入学前に担当者会議に参加し、情報共有を行った。	・就学前よりも就学直後での支援内容を知らないと要望もあるので、書面での提示も含め、支援内容を共有できるようにする。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		・地域の支援センターの職員の方に見学にいらして頂き、療育内容の説明と助言を頂いた。	・児童発達支援センターの職員の方とケースに応じ、電話や来所での対応のアドバイスを頂ける関係作りを構築する。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5	・近くの公園や公共施設へ出かける機会を設けたが、出かける時間帯に他のお子様不在の場合もあった。	・時間や場所をリサーチし、地域のこどもとの交流が図れるようにする。(園庭解放や地域支援センターの活用等)	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・送迎の際やHUGの連絡機能でお子様の様子や活動の姿を伝えている。	・保護者の方へ療育見学やご相談は随時受け付けている事を再度周知し、お子様の状況を共有する。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・年齢別懇談会等とりいれている。また、イベント後の感想も含め保護者同士で話が出る機会を設けている。	・懇談会や親子療育、イベント等年間で概ねの予定をご提示し、参加できる機会を増やす。 ・また、ご家族が参加できる研修やチャリン等を玄関提示をし、情報の提供をおこなう。	
	保護者へ	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・特に問題なし	・視覚的にわかりやすく提示をする。変更点のある場合、随時、HUGシステムや口頭説明をおこなう。
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・特に問題なし	・今後もお子様の意思を尊重する為、普段のお子様の思いや発達状況を職員間で把握し、支援計画を立てるようにする。
		37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・特に問題なし	・引き続きお子様やご家族の意向を聞き取り、機能訓練士やスタッフと支援内容を共有、精査しながら対応をする。
		38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	・個別レッスンをし、運動面・認知面を中心に助言を行った。	・個別レッスンをし、運動面・認知面を中心に助言を行った。また、ご家族への相談対応をしきれない部分もあり、今後計画的に面談日時設定をする。
		39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	・年齢別で懇談会を行った。	・保護者同士の交流機会を年間のイベントの中に組み入れたり、ご兄弟の参加も可能なイベントを行い、交流する機会を作る。

の 説 明 等	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	・送迎に関しては可能な限りルート調整をし、お迎えの対応が出来た。	・相談や申し入れに関しては真摯に受け止め、引き続き対応可能な体制作りを目指す。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・特に問題なし	・今後もインスタやHUGのシステムを活用し、すぐに活動内容や予定が分かる様発信する。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・特に問題なし	・インスタなどのSNS発信は引き続き、顔にマークを付けるなど、個人が特定されない様配慮する。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・お子様への意思疎通を図るツールとして、絵カードを携帯し、次の行動がしやすいよう配慮している。	・保護者の方には仕事時間中の電話連絡は控え、HUGの連絡機能でやり取りできるように配慮している。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	・今後一層、地域に開かれた運営をするよう善処する。	・なつまつり等、マンションの管理人や市役所の方に参加案内していく。 ・相談支援事業所の方にも案内を出していく。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・マニュアル策定後、職員間で読み合わせをし、実技、訓練を行えた。	・保護者が各マニュアルを閲覧しやすいような場所に設置する。(相談室に置く、壁に掲示等)
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2	・業務継続計画の策定と避難訓練は昨年度より2倍回数を増やした。	・発生時、避難中、避難後の動きをより具体的に想定し、実際職員間で行動し、イメージの共有を図るような訓練を取り入れる。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・特に問題なし	・アセスメント時には必ず聞き取り、服薬後の状態等は定期的に聞き取りお子様の状況把握、適切な対応をする。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・特に問題なし	・アセスメント時に聞き取り、食物アレルギーのあるお子様がいたら、指示書に基づき、飲食の環境設定や個別対応を行う。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・特に問題なし	・引き続き適切な安全管理を行うため、再度職員全体で見直し、必要な避難道具の点検をおこなう。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2	・HUGの活動記録で事故報告を行い、周知していた。	・安全対策の中で、避難先を保護者の方に周知する訓練を今後おこなっていく。(HUGシステム内の活動記録、連絡機能の活用)
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・朝のミーティングでも共有し、起こった出来事は口頭で報告、対応を共有している。	・再発防止の策を講じた後、どのような状態なのかを職員会議の際振り返りにする。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待防止に関する研修をおこなっている。	・自己点検を集計し、どの点の対応が良いのかを互いに話し合える機会を今後も定期的に設け、対応に生かす。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・契約時に身体拘束についての説明をし、どのような時に行なうのか等説明文を提示し、了承を頂いている。	・児童発達支援計画に項目を提示する。